

本市のシェアサービスで使用するバイク型モビリティを全国初公開！
～まちかど広場で市長が走り初めをします～

令和5年7月1日に施行された道路交通法の一部を改正する法律（令和4年法律第32号）により、電動キックボード等に対応する新たな車両区分として「特定小型原動機付自転車」が創設されました。

来年1月（予定）のシェアサービス開始に向け、このたび全国に先駆けて使用車両を公開しますので、お知らせします。

また、同車両に市長が試乗しますので、併せてお知らせします。

1 使用車両概要

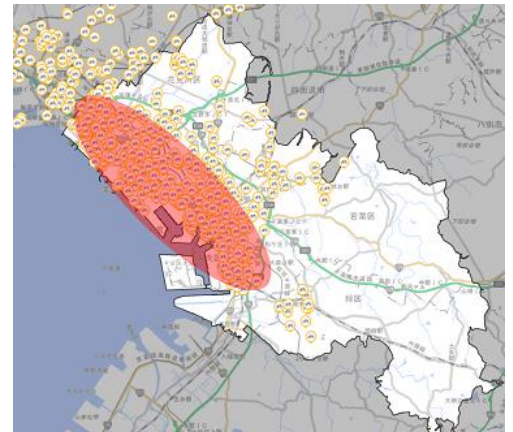
- (1) 全長 1,280mm
- (2) 重量 約20kg
- (3) 最高速度 20km/h（歩道走行6km/h）
- (4) 特徴
 - ・OpenStreet株式会社とglafit株式会社の共同開発
 - ・重心が低く安全性の高い、着座式のバイクタイプ
 - ・ハンドル右手のスロットルを回して前進（ペダルなし）
 - ・14インチ大径タイヤで段差もつまずきにくい



使用車両イメージ

2 事業概要

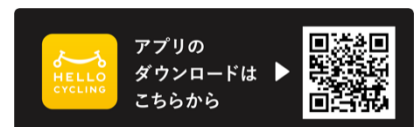
- (1) 実施期間 令和6年1月から令和7年3月末（予定）
 - (2) 実施地域 幕張新都心を含む右図赤枠エリア
 - (3) 導入台数等
 - ・開始時に50ステーション200台導入予定
 - ・終了時まで500ステーション600台を導入予定
 - ・シェアサイクルステーションの一部を共用化予定
- ※右図黄色ピンはシェアサイクルステーション設置箇所



実施予定地域

- (4) 利用料金
15分ごと200円、12時間最大4,000円
- (5) 利用方法

シェアサイクルと同様の「HELLO CYCLING（ハローサイクリング）」アプリから利用可能となる予定。詳細はサービス開始前にお知らせします。



3 周知啓発等

STAY STREET（千葉国道事務所・千葉市・株式会社千葉銀行の包括協定による社会実験イベント）の催しの一つとして、使用車両の試乗やヘルメット着用促進等の安全啓発を目的とした広報周知を行います。

- (1) 日時 令和5年11月23日（木・祝）、24日（金）各日10:00～16:00
- (2) 場所 国道357号上部空間（千葉モノレール「市役所前」駅前）

※このほか、順次県警等と連携した安全講習会等を実施する予定です。

4 市長の試乗について

定例記者会見後、使用車両に市長が試乗します。

- (1) 日時 令和5年10月26日（木）14:30から
- (2) 場所 市役所まちかど広場（大通りに面した東側1階の出入口前）

※定例記者会見後、職員が誘導します。市長試乗後、記者の皆様も試乗いただけますので、ご希望される方は当日職員にお声がけください。

<参考>

OpenStreet 株式会社について

（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：工藤 智彰）



平成28年11月に設立し、「HELLO CYCLING」をはじめとしたシェアモビリティプラットフォームを提供。

シェアサイクルに関して令和5年10月時点で全国約100自治体と連携しており、千葉市内では約450ステーション、自転車台数約2,000台、月間利用者数3万人を突破。市民や来街者の利便性・回遊性向上や地域活性化を目的とした、公共交通を補完する交通サービスとして利用されている。

glafit 株式会社について

（本社：和歌山県和歌山市、代表取締役 CEO：鳴海 禎造）



電動マイクロモビリティの開発・製造・販売までワンストップで手掛ける、和歌山発のハードモビリティベンチャー。

「移動を、タノシメ！」をブランドメッセージに掲げ、「日々の移動を驚きと感動に変え、世界中の人々を笑顔にする」ような、新しい移動体験をお届けするモビリティを開発し、提供している。